

MOCC・APHOG 事業報告
令和7年1月1日～令和7年12月31日

1. 事業実施の方針

予てより事業実施の方針として堅持してきた以下の3つの方針を令和7年度も堅持。

- I. NPO 設立当初より継続してきた ICT を活用した日本における永続的な小児がん長期フォローアップの仕組みの確立に向けた事業
- II. アジア小児血液・がん治療研究グループ（通称：APHOG）の活動及び事務局機能の担務。また、I.の活動により得た知見をアジアにおける小児がん長期フォローアップに生かし、それを支援する活動も含める。
- III. WHO(世界保健機関)及び SIOP/SIOP-Asia と緊密に連携し、「WHO The Global Initiative for Childhood Cancer (通称：GICC)」(2030年までに世界の小児がんの治癒率を60%以上に上げる。2018年発表)を推進するため、国内外における啓発・広報活動を行う。

この主要3方針に加えて、今期はMOCCの活動、並びにMOCC自身の一層の知名度向上を図るため、ブランディング、資金調達が多様化への取り組み、資金調達の目的を明確にすること、また、財政基盤の堅牢化、そして、それらを支える組織の整備に取り組む。

2. 具体的実施事業について

- ◆ **International Childhood Cancer Day 国際小児がんデー(ICCD)2025**
 - ・2025年2月16日(日)
 - ・エスプラッツホール(佐賀市)
 - ・主催
 - ・約150名の参加

- ◆ **SIOP ASIA 2025 (INTERNATIONAL SOCIETY OF PEDIATRIC ONCOLOGY)**
 - ・2025年4月12～15日
 - ・ALMAAREFA UNIVERSITY(リヤド、サウジアラビア)
 - ・「APHOG Annual Meeting 2025」開催
 - ・APHOG/SIOP Asia/POEM/St. Jude Global 合同シンポジウム
 - ・APHOG セッション

- ◆ **第4回 “Pediatric Oncology East and The Mediterranean (POEM) Group” 会議**
 - ・2025年5月1～3日
 - ・アンマン、ヨルダン
 - ・APHOG代表として中川原理事長が招待講演

- ◆ 第1回 WHO GICC in NAGOYA 2025
小児がんグローバルイニシアティブ国際シンポジウム～医療はすべての子どもに平等でありたい～
 - ・2025年6月28日(土)
 - ・栄ガスビル 5階ホール
 - ・NPO 名古屋小児がん基金と共同主催

- ◆ 第5回国際シンポジウム”5th International Symposium on Asian Childhood Cancer”
「5th WHO GICC in TOKYO 2025 ～2030年までに世界の小児がんの治癒率を60%以上に貧富の差を乗り越え、世界のがんの子どもを救おう～」
 - ・2025年9月7日(日)
 - ・国立がん研究センター 研究所1階大会議室
 - ・主催
 - ・約70名の参加

- ◆ “1st WHO Global Initiative for Childhood Cancer (GICC) China Symposium”
「第1回 WHO GICC in China」
 - ・2025年9月25日、26日
 - ・中国国立小児健康センター 北京小児病院,首都医科大学
 - ・APHOG 代表として中川原理事長が招待講演

- ◆ EXPO2025 INOCHI WORLD PROJECT
 - ・2025年9月27日(土)
 - ・大阪・関西万博 EXPO ホール
 - ・APHOG として協賛

- ◆ 57th Congress of The International Society of Paediatric Oncology (SIOP) 2025 (第57回 国際小児がん学会 2025)
 - ・2025年10月20～23日
 - ・オランダ アムステルダム
 - ・10月20日(月) APHOG ビジネスミーティング

- ◆ 5th APHOG & SIOP Asia Joint Scientific Symposium 2025 Theme: ”JMML and MDS”
 - ・2025年11月5日(水)
 - ・オンライン開催
 - ・APHOG 主催

- ◆ 第67回日本小児血液・がん学会
 - ・2025年11月19～21日

- ・福岡市
- ・特別講演：中川原章理事長「小児がん：わが旅、わが挑戦 ～APHOG への道～」

◆ 4th APHOG Global Seminar 2025 Theme: Pediatric Liver Tumor

- ・2025年12月17日
- ・オンライン開催
- ・APHOG主催

3. その他の活動

<定期ミーティングの実施>

- ・各施策の進捗状況チェックと改善のため、報告と月2回の定期的なミーティングの実施

<広報活動>

- ・ホームページの更新
(広報、寄附金集めのプラットフォームとして、合目的的に改良)
 - ・積極的なニュースリリースの実施
 - ・各実施活動に対して、ニュースリリースを作成、SNS活用
- SNSのマルチメディア化(インスタグラム,youtube実施)。メールマガジンの定期発信を実施。

<認定 NPO 取得に向けた活動、会員制の実施検討>

- ・認定 NPO 取得に向けた活動を継続的に 2025 年度も進行 (行政書士へ委託)
- ・毎月定額寄附をしてくれる方を対象とした会員制については、会員制のメリットとデメリットを検討中。

<寄附金集め>

- ・法人及び企業、個人からの寄附金集め：法人2件、企業3件、個人3件ほか
- ・ふるさと納税による寄附金集め：41件
- ・クラウドファンディングの実施：2回実施

<補助金・助成金・交付金取得>

- ・WAM助成(社会福祉振興助成事業)での助成金申請準備。

International Childhood Cancer Day



国際小児がんデー (ICCD) 2025

チャリティコンサート in佐賀

【日時】 令和7年2月16日(日) 午後2時～5時

【場所】 エスプラッツホール (佐賀市白山2丁目7-1 3F)

【参加費】 無料

主催 NPO法人 小児がん・まごころ機構
ライオンズクラブ国際協会337-C地区

共催 ミュージカル県SAGAプロジェクト
国際小児がん学会(SIOP)
アジア小児血液・がん治療研究グループ(APHOG)
NPO法人パープルソングスキャンフライジャパン

ご寄附のお願い

会場受付に寄附BOXを設置しております。
皆様の暖かい支援をどうぞよろしくお願いいたします。
※このイベントでいただいた寄附金は、NPO法人小児がん・まごころ機構を通して、アジアの小児がんの支援活動に使わせていただきます。

↓お申し込みはこちら↓

【電話番号】 0942-50-5542

【メールアドレス】 iccd2025saga@mocc4u.org

後援：佐賀県、佐賀市、鳥栖市、サガテレビ、(株)佐賀新聞社、ケア・サポーターズクラブ佐賀、(公財)佐賀県国際交流協会、(一財)量子医療推進機構、NPO法人日本小児がん研究グループ(JCCG)、佐賀大学医学部小児科、(公財)がんの子どもを守る会、認定NPO法人ハートリンクワーキングプロジェクト、NPO法人アジア・チャイルドケア・リーグ (ACCL)、アマゾンジャパン合同会社、NPO法人がん患者さんにウィッグと帽子を提供する会、NPO法人クレブスサポート、NPO法人 パルサポートキッズの会、認定NPO法人 キャンサーネットジャパン、認定NPO法人 ミルフィーユ小児がんフロンティアーズ、NPO法人鳥栖子どもミュージカル

mocc

プログラム

司会進行 中村百合子

入場開始 (13:30~14:00)

- **小児がんのための歌** パープルソングスキャンフライ
小児がんの子どもたち作詞・アニタクルーズ作曲
より3曲
- **開会の挨拶** ライオンズクラブ337C地区
副会長 松隈 邦博
- **理事長挨拶** NPO法人小児がん・まごころ機構
理事長 中川原 章
- **スピーチ** 『娘を白血病で失って』
藪 英季
- **ショータイム①** 『子どもたちのための Songs and Dance』
ティーンズミュージカルSAGA&ミュージカルアカデミー

休憩 (15:15~15:30)

- **活動報告** 『アジアの小児がん克服を目指して』
NPO法人小児がん・まごころ機構理事長
アジア小児血液・がん治療研究グループ会長 中川原 章
- **ゲストライブ** 『いのちと夢のコンサート』
弓削田 健介
- **小児がんのための歌** 『We are family』
ことりゆき
- **ショータイム②** 『歌って踊ってみんなでゴスペル』
Joyful Voices in 九州
- **閉会の挨拶** 鈴鹿医療科学大学
アジア小児がん学会 前会長 堀 浩樹

※敬称略



ライオンズクラブ国際協会
337-C地区 (佐賀・長崎)



Purple Songs
Can Fly

1st WHO Global Initiative for Childhood Cancer (GICC) China Symposium

第1回WHO GICC中国シンポジウム

~Summary~



「第1回WHO GICC中国シンポジウム」
が、2025年9月25～26日に、
中国河北省保定市において開催されました！

- Date: 2025年9月25～26日
- Venue: 中国河北省保定市
- Host: 中国国立小児健康センター
北京小児病院, 首都医科大学



Day 1 "WHO GICC China Symposium"

Gevorg Tamamyan	SIOP and Asian Branch Network
Akira Nakagawara	APHOG Network for Children's Cancer
Benson Pau	CCI Network and China outreach
Xin Ni	Children's Cancer registry in China
Elick Ashwin Narayan (WHO Beijing officer)	WHO and GICC
Huanmin Wang	Early detection and early diagnosis of children Cancer
Meng Xu	Integrated Care for Children Cancer in China

Day 2 "Precision Diagnosis and Treatment of Children Cancers"

Larry Wang	Pediatric cancer pathology and ICCR data
James Amatruda	Deciphering the cellular origins of Ewing sarcoma
Donald Lucas	Solid tumor surgery neuroblastoma or Wilms tumor
Paul Losty	IPSO – A short History, Developments, and Current status
Chui Chan Hon	Surgical challenges in neuroblastoma
Godfrey CF Chan	Diagnosis and treatment of rare tumors in children
Haiyan Cheng	Chinese expert consensus on diagnosis and treatment of IFS



初日、「WHO GICC China Symposium」の後の集合写真

第5回 小児がん国際シンポジウム

“5TH INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON ASIAN CHILDHOOD CANCER” WHO GICC in TOKYO 2025



2030年までに世界の小児がんの治癒率を60%以上に
～ 貧富の差を乗り越え、世界のがんの子どもを救おう ～

日時：2025年9月7日(日) 14:00～17:00

会場：国立がん研究センター 研究所1階 大会議室

お申込みはこちらから

<https://forms.gle/zVY7Rg47SNi6VCB47>



定員：200名（先着順）

参加費：無料

形式：現地開催のみ

主催：NPO法人小児がん・まごころ機構（MOCC）

アジア小児血液・がん治療研究グループ（APHOG）、

アジア小児がん学会（SIOP Asia）



後援

厚生労働省、国立がん研究センター、国立成育医療研究センター、UICC日本委員会、UICC-ARO、
NPO法人日本小児がん研究グループ、日本小児血液・がん学会、がんの子どもを守る会、
認定NPO法人アジアチャイルドケア・リーグ、ハートリンク共済、ミルフィーユ小児がんフロンティアーズ、
キャンサーネットジャパン、パルサポートキッズの会、NPO法人クレブサポート、量子医療推進機構、
パープルソングスキャンフライジャパン、NPO法人鳥栖子どもミュージカル、ティーンズミュージカルSAGA

事務局：NPO法人小児がん・まごころ機構、WHO-GICCシンポジウム事務局（オスカー・ジャパン株式会社 国際事業部）

e-mail: whogicc2025@mocc4u.org

MOCCホームページ <https://mocc4u.org/>



総合司会 <入江 佳代子>

14:05-14:20

【挨拶及び基調報告】 <中川原 章>

NPO 法人 小児がん・まごころ機構 (MOCC) 理事長
アジア小児血液・がん治療研究グループ (APHOG) 代表

14:20-14:45

【来賓挨拶】

<自見はなこ> 参議院議員・元内閣府特命担当大臣

<岩田和親> 衆議院議員

<大坪寛子> 厚生労働省 健康・生活衛生局長

<ジレルモ・シャントダ> 国際小児がん学会 (SIOP) 会長

<カルロス・ロドリゲス・ガリンド> セントジュード・グローバル部門長

14:45-15:10

【ピアノ弾き語り】<ことりゆき>

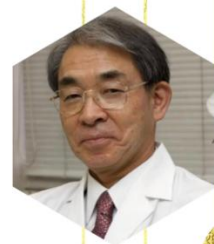
15:10-15:30

【講演-1】<堀 浩樹>

鈴鹿医療科学大学

国際小児がん学会アジア大陸 (SIOP Asia) 前会長
「アジアにおける小児がん治療成績の向上に向けて」

15:30-15:40 休憩



15:40-15:50

【小児がんの子どもの唄】 <アニタ・クルーズ>

米国パープルソングスキャンフライ

15:50-16:15

【講演-2】 <嘉数 真理子>

特定NPO法人ジャパンハート

「国境を越えて、心をつなぐ：カンボジアで
歩んだ小児がん支援の道のり」

16:15-16:35

【アジアの小児がん専門医からのメッセージ】

<ゴッドフリー・チャン> 中国(香港)

<ラシュミ・ダルビ> インド

<ムハメド・サジール・カーン> サウジアラビア

<ゲボルグ・タマミヤン> アルメニア

16:35-16:55

【ゴスペルコンサート】

「小児がん克服へのゴスペル：Wonderful Shalom!」

16:55-17:00

【閉会の挨拶】

<若尾文彦>

国立研究開発法人国立がん研究センター
がん対策情報センター本部・副本部長

※敬称略